

## 平成30年度事業計画書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人有明海ぐるりんネット

### 今年度の目標

昨年度は、当法人の設立の目的であった「有明海をぐるっとネットワーク化する」ための事業を、八女市星野村で活動する「NPO 法人がんばりよるよ星野村」と交流した出張例会、2017年度（一社）セブンイレブン記念財団環境市民活動助成事業として実施した「ノリ生産の現場から有明海の食と環境を考える」事業での、栄養学の専門家、海苔ジャーナリスト、佐賀県有明海漁協佐賀市支所との交流、アジア湿地シンポジウム 2017（AWS2017）への参加の中で交流を深めたラムサール登録湿地で活動する団体及び市役所職員との交流、カキ礁復元へ向けた「竹切り作業＋有明海での竹立て作業」の中で生まれた NPO 法人嘉瀬川交流軸、NPO 法人有明海再生機構との交流などを通して実現することができました。

平成30年度は、当法人の活動の中心で、毎月1度開催している定例会を途切れることなく実施するとともに、昨年度の交流で深めた絆を継続するための事業を行っていきたいと思います。さらに、2018年度（一社）セブンイレブン記念財団環境市民活動助成事業の採択決定を戴きましたので、有明海の歴史文化に関する新たな発見に向けた活動を行いたいと思います。

### ①有明海の魅力を探り、広報する活動

#### 定例会

「有明海に関する知識と知恵を共有化し、有明海と共生する暮らし方を探る」活動の中心として毎月1回、合計12回の例会を欠かすことなく実施致します。会員に講師を推薦して戴く方式にしてからは、様々な分野からの多様な話題提供があることから、今年度も継続して会員による推薦方式を続けたいと思います。

さらに、他の地域の方々との交流を深めるため、今年度は、松浦川流域の巖木に宿泊し、流域で活動する NPO 法人等の方々との交流を深める出張例会を企画したいと思います。

### ②有明海の新たな魅力創生に寄与する活動

#### 2018年度（一社）セブンイレブン記念財団環境市民活動助成事業の実施

幸い今年度も「古事記の神様から吉野ヶ里へ至る古代有明海を考える」の事業名で申請した事業が、セブンイレブン記念財団環境市民活動助成を受けることができました。

マスコミでは「対立する有明海」だけが報道されますが、美味しい海苔、ひょうきん者のムツゴロウ、日本一の飛来数を誇る渡り鳥たちなど、有明海は魅力に満ちた海でもあります。有明海の魅力の一つは文化の豊かさと歴史の深さです。古事記・風土記に残された神様達と東名・吉野ヶ里遺跡と有明海が深く結びついていることを明らかにすることにより「魅力ある有明海の文化」を広報し、市民と有明海とのむすびを強くすることを目的とします。

有明海沿岸域の3湿地がラムサール条約登録湿地となったのを記念して、11月7日から12日まで「第8回アジア湿地シンポジウム2017」が開催されました。アジア各地から参加した諸団体は、湿地の自然保護に取り組むばかりでなく、地域の文化に対する愛着と誇りを広報すること

に力を注いでいることを知りました。今年度は、鹿島ガタリンピックや海神祭などの祭りを主催している方々との連携を深め、有明海沿岸域における文化に対する理解を深めます。

#### ①「大川風浪宮の沖祭り海神祭」見学会

大川風浪宮を船出し筑後川河口で催される「沖詣り海神祭」に参加します。

日時：旧暦4月1日（2018年は5月15日）

参加予定人数 1回 見学用漁船 1艘

乗船者20名（市民、ぐるりんネット会員、マスコミ等）

実施予定地 大川風浪宮 筑後川河口

連携団体 大川風浪宮

#### ②「古事記の神様から吉野ヶ里へと至る古代有明海を探るシンポジウム」開催

「日本文化の空間学」（桑子敏雄編 2008年東信堂刊）に記された研究成果を基礎に、有明海沿岸域における風土に記された神様達と東名・吉野ヶ里遺跡に残された人々の姿を探ります。

日時： 2018年11月頃を予定

会場： 佐賀市市民活動プラザ大会議室（佐賀商工ビル7F）

講師： 合田博子氏（兵庫県立大学環境人間学部教授）（予定）

西田巖 氏（佐賀市教育委員会）（予定）

七田忠昭氏（佐賀城本丸歴史館館長）（予定）

#### カキ礁復元の取組み事業

有明海の環境悪化の象徴的な事象である「貧酸素水塊の増加」と「底質悪化」を改善する施策として「二枚貝の復活・増加」が有効であることは、科学的に証明されています。

今年度もNPO法人嘉瀬川交流軸とNPO法人有明海再生機構との共同事業で「カキ礁復元用の竹切り出し作業」「有明海カキ礁復元竹立て作業」を行います。

#### 情報発信

平成17年度の創刊号以来、毎年1号ずつ発刊してきた冊子「有明海」は休刊しましたが、これまでに蓄積してきたコンテンツを、アジア湿地シンポジウム2017（AWS2017）で刊行したブックレットに活かすことができました。

冊子有明海に掲載したコンテンツの中で日本語英語併記で表現したいものが多く残されています。今年度も福岡都市圏広域行政事業組合の環境対策支援補助金を活用して、日本語英語併記電子版冊子「有明海」の作成を企画してみたいと思います。また、ホームページを常に更新するよう努力します。

## 2. 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動にかかる事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益者対象の範囲及び人数	支出額 (千円)
①有明海に関連した環境教育及び生涯教育に関する事業	有明海ぐるりんネット 通常定例会	原則として毎月1回 (第2木曜)	MIZ・P-CSR 研究所 佐賀市 活動プラザ	3	会員 県内・県外 (不特定) 県内・県外 (関係者)	100
	出張定例会 (2回予定)			5		
②有明海沿岸域の地域連携及び地域づくりに関連する事業	鹿島ガタリンピック イベント出展 試食会	5月27日	鹿島市 ガタリンピック会場	15	国内外 (不特定)	70
	カキ礁復元用 竹切り出し作業 共同事業 嘉瀬川交流軸共催 有明海再生機構共催	6月予定	佐賀市 水ものがたり館周辺	15	県内、県外 (不特定)	0
	カキ礁復元 竹立て作業 嘉瀬川交流軸共催 有明海再生機構共催	7月予定	佐賀県 有明海 海域	15	県内、県外 (不特定)	0
	「大川風浪宮の沖祭り 海神祭」見学会 (セブンイレブン助成 事業)	5月15日	大川市 有明海域	5	県内、県外 (不特定)	230
	「古代有明海を探るシ ンポジウム」開催 (セブンイレブン助成 事業)	11月予定	佐賀市 佐賀商工ビル大会議室	20	県内、県外 (不特定)	
③有明海及び有明海沿岸域の生活、文化、観光等の向上、振興に関する事業	冊子「有明海」 英語版電子データ作成 第1期	4月～	佐賀県 福岡県 熊本県	3	国内外 (不特定)	50
	公式サイト更新諸費用	4月～		3		80